

2025年8月期 第2四半期 決算説明資料

マニー株式会社

THE BEST QUALITY IN THE WORLD, TO THE WORLD

2025年4月11日

中国における「マニーダイヤモンド」の自主回収に関するお詫び

このたび、当社製造の「マニーダイヤモンド（一般的名称：歯科用ダイヤモンドバー）」における自主回収により、当社に関係する皆様に多大なご迷惑をお掛けしておりますこと、深くお詫び申し上げます。

本件は、中国規制当局への製品登録に関する不備が確認され、現在、適切な対応を進めております。なお、本件は中国規制当局への申請に関するものであり、製品の有効性および安全性には問題はなく、患者様の健康への影響はないと判断しております。また、他の地域での販売への影響はございません。

2025年8月期連結業績に与える影響につきましては、現在精査中であり、今後公表すべき事項が生じた場合には速やかに開示いたします。

本件の詳細は、以下のニュースリリースのリンクよりご参照ください。

[2025年4月9日【中華人民共和国における「マニーダイヤモンド」の自主回収に関するお知らせ】](#)

経緯と今後の対応

これまでの 経緯

- 中国薬事当局（NMPA）に登録されている「マニーダイバー」の2品番の記載事項に不備があることが判明。
2ロットの自主回収を実施。（2024年10月31日に開示済み）

今回の 開示

- 中国で販売されている他の「マニーダイバー」にも、製品登録情報の一部に記載不備があり、記載不備の訂正に変更申請の手続きが必要と判明したため、追加の自主回収を実施することを決定
- 「マニーダイバー」の内、約50%の品目で変更申請が必要となり、変更申請を実施中。認証されるまでの間、当該製品の販売を停止。
- NMPAからの認証を取得後、製品を再販予定。

2025年5月1日以降の執行体制

執行役会長	齊藤 雅彦	技術フェロー、品質保証本部長
取締役兼代表執行役社長	渡部 眞也	最高経営責任者
取締役兼執行役副社長	高橋 一夫	社長補佐(特命事項)、CFO、CRO、経営企画室長
執行役専務	福本 英士	モノづくり部門長、開発本部長
執行役専務	栗田 秀一	ビジネス部門長、グローバル営業本部長
執行役常務	神阪 知己	モノづくり部門副部門長、生産本部長
執行役常務	橋本 尚久	社長補佐(コーポレート副統括)、監査室長
業務役員	稲富 健太郎	MMG社長
業務役員	大金 薫	グローバルオペレーション本部長
業務役員	寺田 創	社長付

2025年8月期 第2四半期決算

(*) 対外開示数字は切り捨て表示としておりますが、本資料における構成要素の一部を四捨五入値として、各構成要素の合算値を合計値に合わせています。

連結業績サマリー

(単位：百万円)

・ 2Q連結業績は増収、営業利益は横ばい

- 「マニーダイヤバー」の自主回収によるマイナス影響があるものの、サージカル・アイレス針の好調により、売上高は対前年+6.5%の増収
- 営業利益は横ばい、経常利益及び純利益は為替差益の縮小により減益

(単位：百万円)	FY24 2Q 実績 (A)	FY25 2Q 実績 (B)	増減額 (C=B-A)	増減率 (C/A)	FY25 通期計画 (D)	進捗率 (B/D)
売上高	13,908	14,810	+902	+6.5%	30,200	49.0%
売上原価 (%)	5,213 (37.5%)	5,317 (35.9%)	+103	+2.0%	10,500 (34.8%)	50.6%
販管費 (%)	4,497 (32.3%)	5,321 (35.9%)	+824	+18.3%	10,800 (35.8%)	49.3%
営業利益 (%)	4,197 (30.2%)	4,172 (28.2%)	△25	△0.6%	8,900 (29.5%)	46.9%
経常利益	4,551	4,277	△274	△6.0%	8,850	48.3%
純利益	3,191	2,940	△251	△7.9%	6,350	46.3%

営業利益から税引前当期純利益 詳細

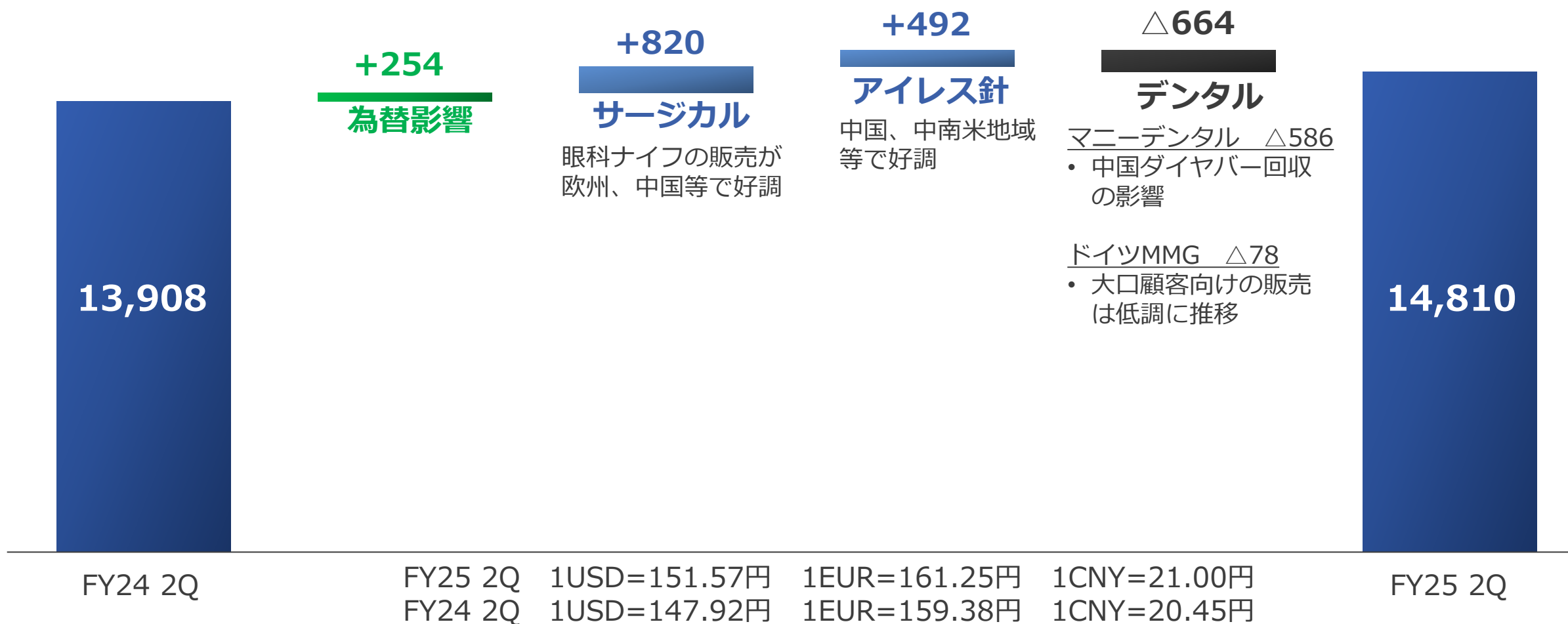
(単位：百万円)

	FY24 2Q 実績	FY25 2Q 実績	YoY	備考
営業利益	4,197	4,172	△25	
営業外収益	371	187	△183	
為替差益	210	20	△189	円高により為替差益が縮小
受取利息	115	103	△11	
営業外費用	18	82	+64	
減価償却費	0	31	+31	花岡工場竣工に伴い減価償却を開始
経常利益	4,551	4,277	△274	
特別利益	2	10	+7	固定資産(子会社生産設備)売却益
特別損失	3	16	+13	固定資産除却損等
税引前当期純利益	4,550	4,271	△279	

売上高の状況（セグメント別）

（単位：百万円）

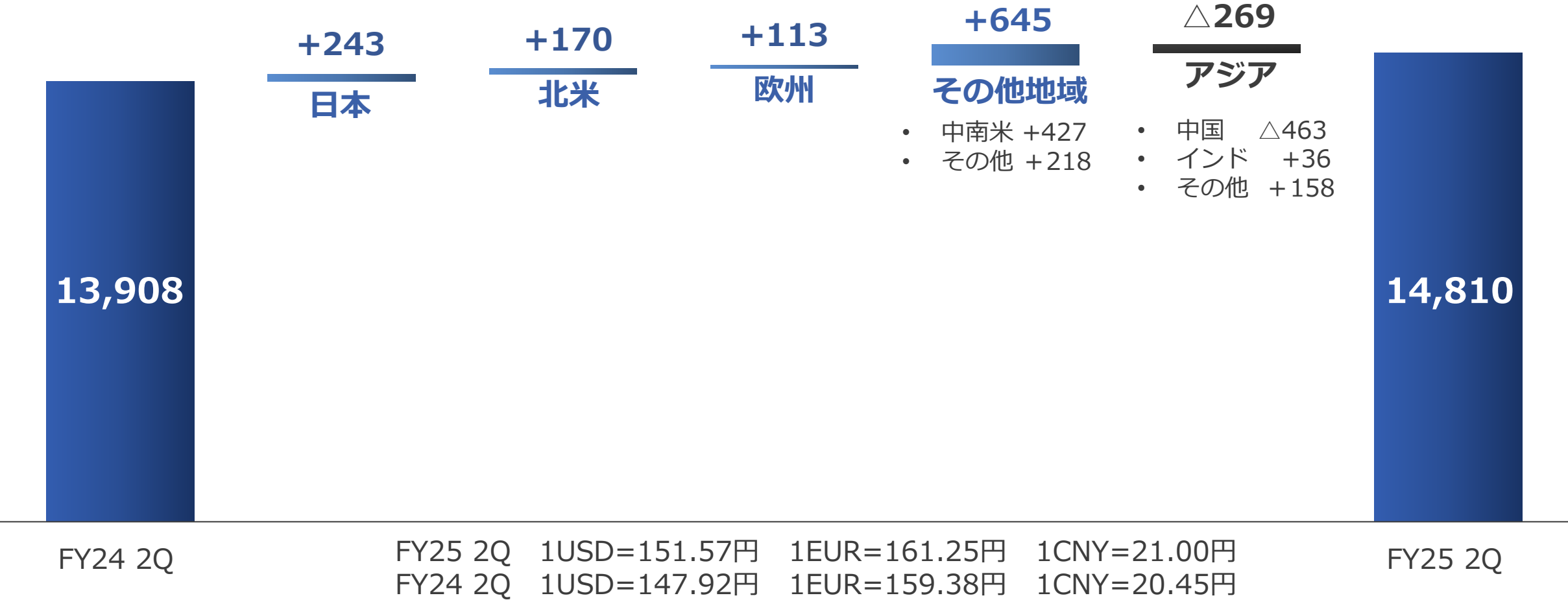
- 売上高は前年同期比+902百万円（+6.5%）の増収
 - サージカル及びアイレス針は増収を維持するも、デンタルが中国市場を中心に減収



売上高の状況（地域別）

（単位：百万円）

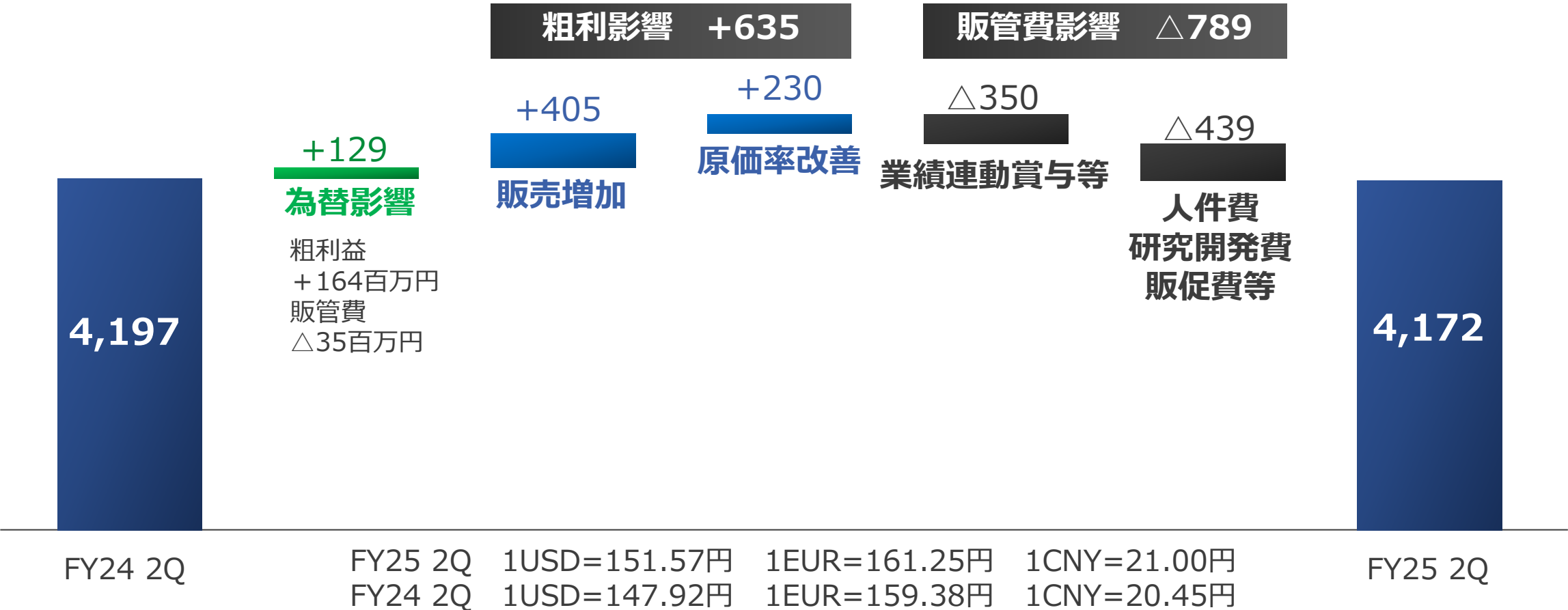
- ・ グローバル各地域の市場成長を刈取
- ・ 中南米・エジプト等の新興国でも伸長（アイレス針及びデンタル）
- ・ 中国は、サージカル・アイレス針が伸長するものの、デンタルの自主回収により減収



営業利益の状況

(単位：百万円)

- 営業利益は横ばい。前年同期比△25百万円（△0.6%）
 - 1Qは一時的なコスト増(業績連動賞与等)があったが、2Qは粗利益率・販管費ともに計画通りに推移



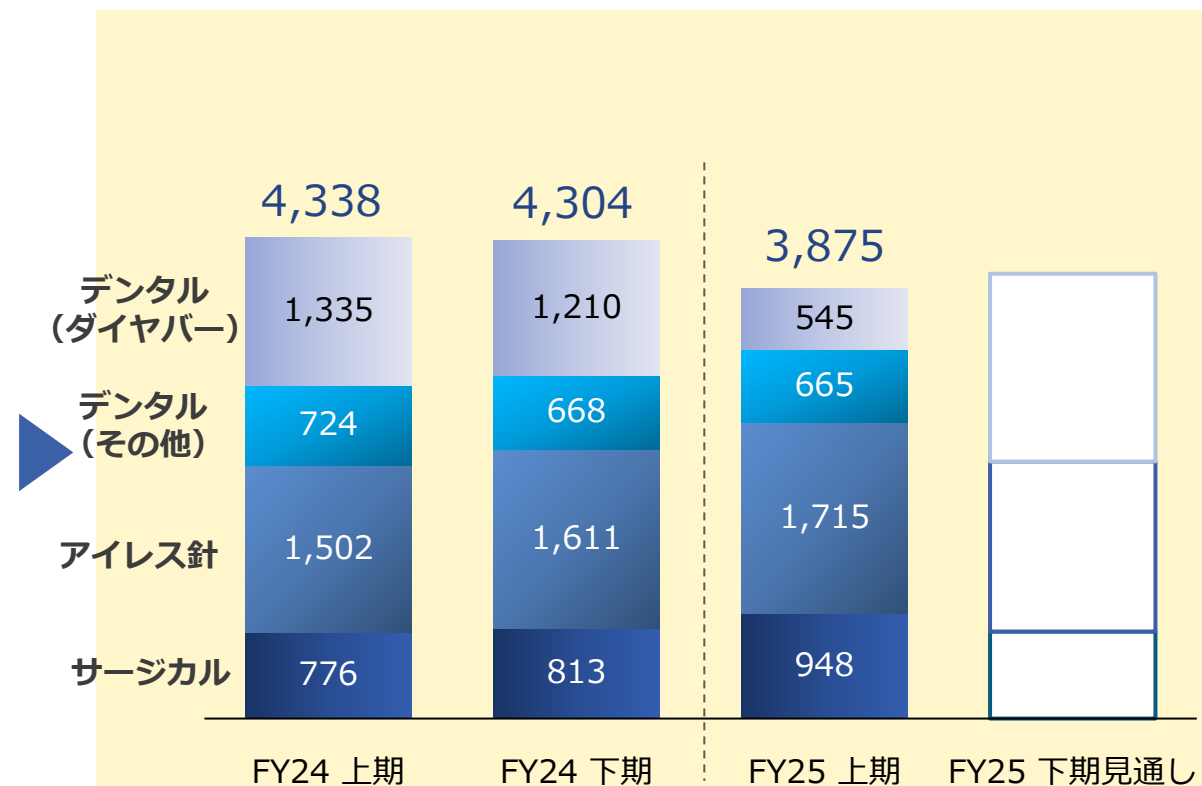
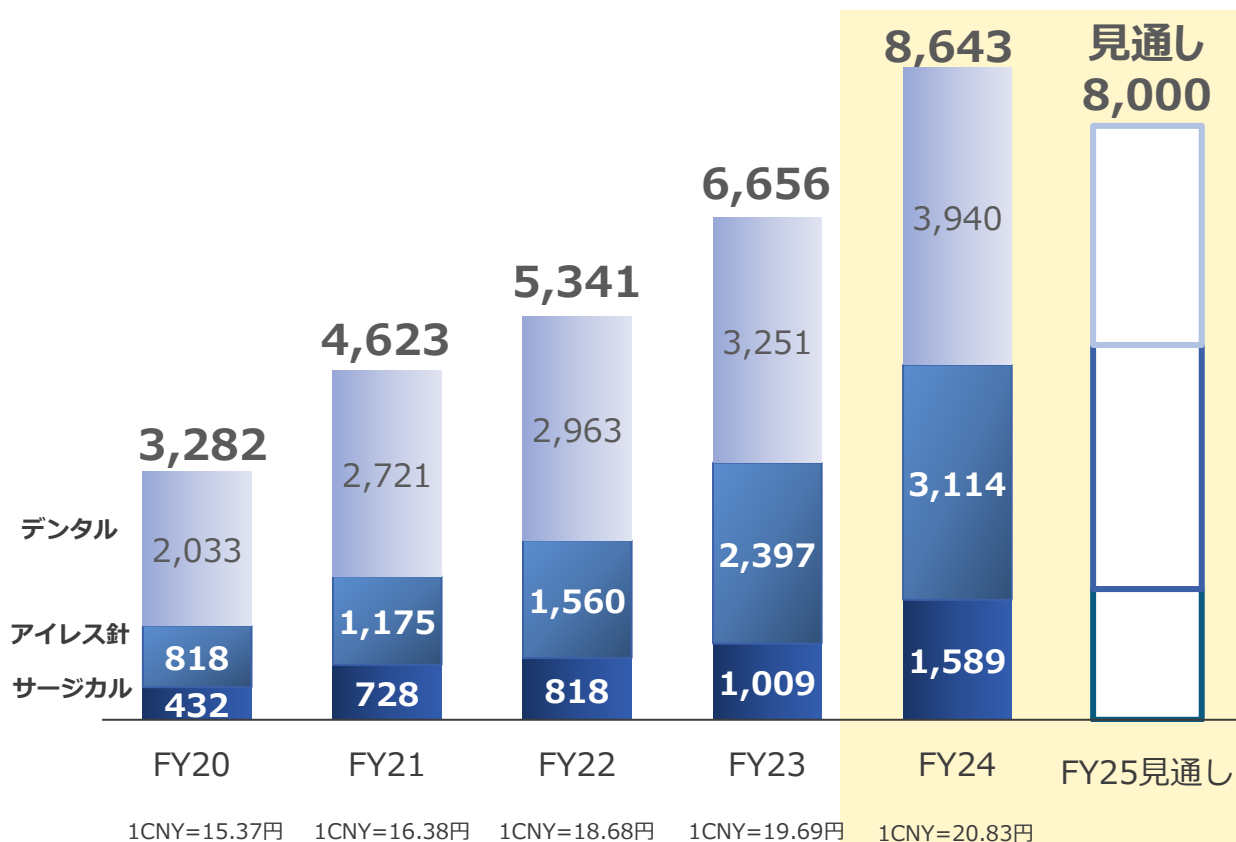
中国ビジネスの状況

(単位：百万円)

FY25 上期： デンタル（前年同期比△41%）：ダイヤバーの自主回収により売上減影響は約8億円
 サージカル（同+22%）、アイレス針（同+14%）ともに売上高は順調に伸長

今後の見通し： デンタルの認証再取得による、JIZAIの投入 → FY27に回復を想定

中国の売上高推移



セグメント別業績

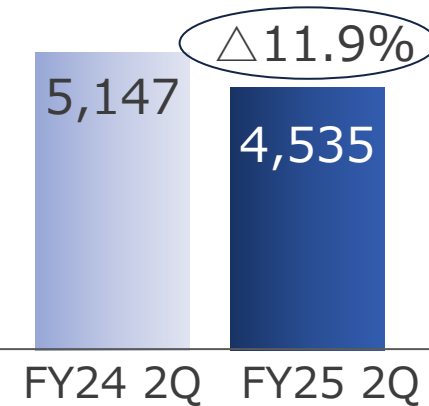
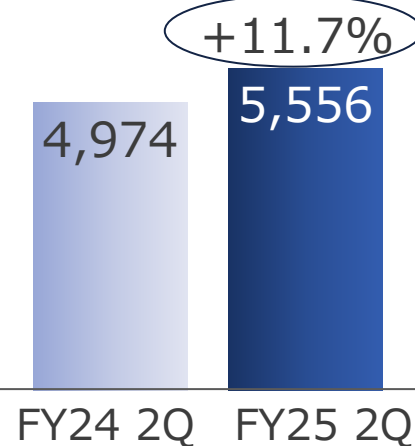
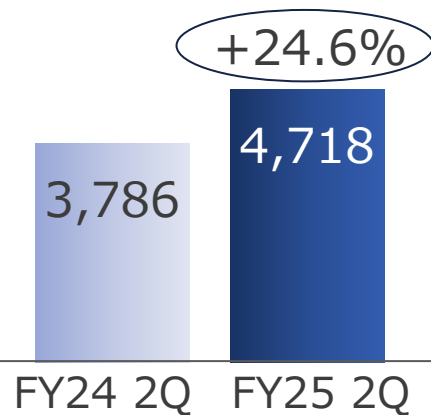
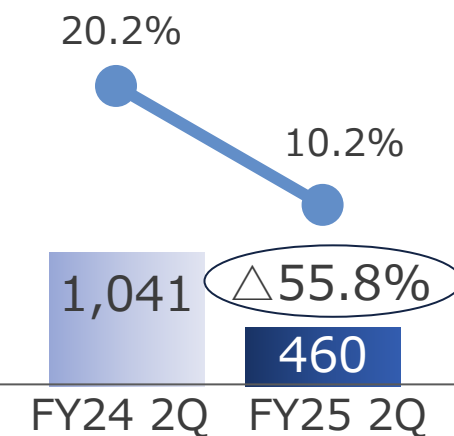
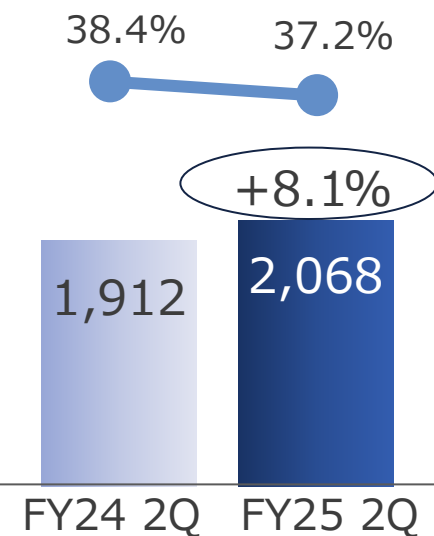
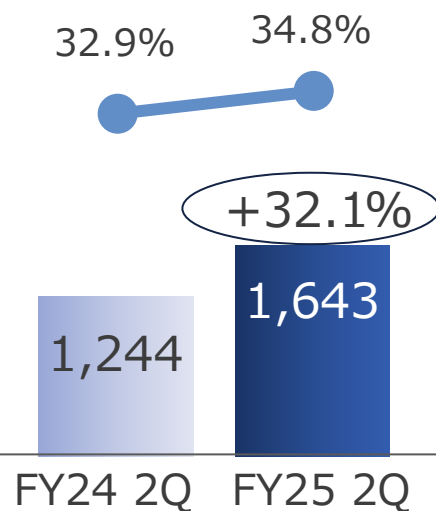
(単位：百万円)

サージカル

アイレス針

デンタル

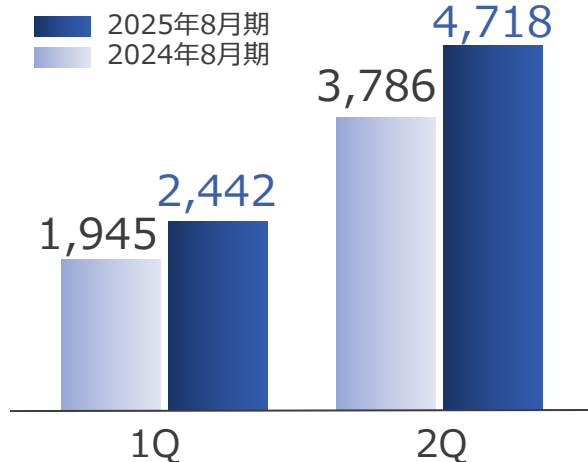
売上高

営業利益
(営業利益率)

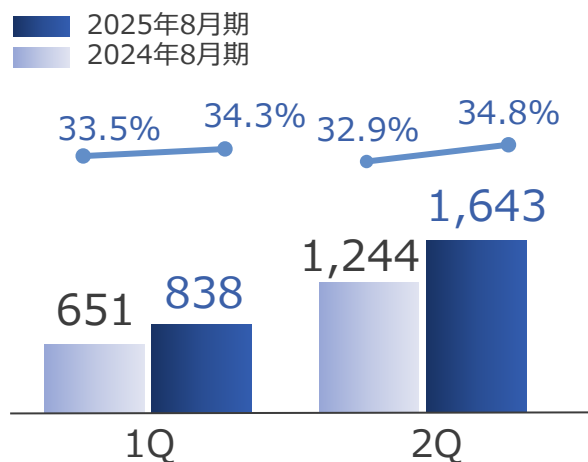
サージカル関連製品 セグメント業績分析

(単位：百万円)

売上高



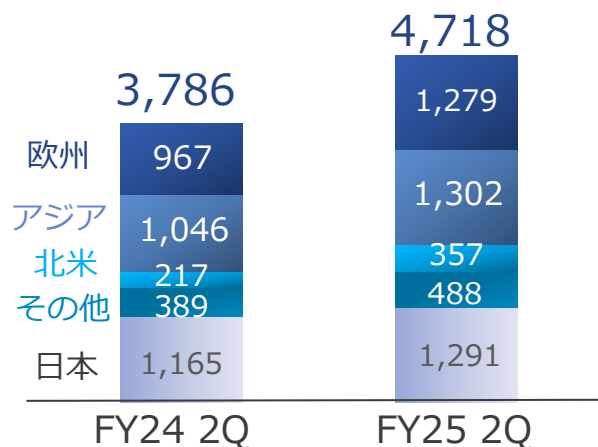
営業利益/営業利益率



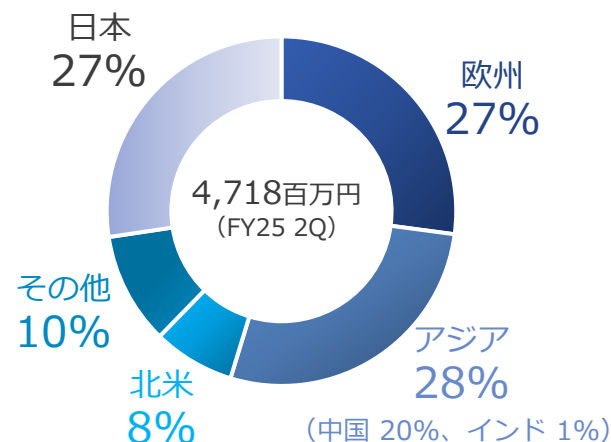
業績概要

- 眼科ナイフは、欧州、中国を中心としたアジアでの売上が伸長
- 欧州では、顧客基盤や営業力を強化して、眼科製品全体を底上げ
- 利益率は増収及び生産性向上により改善

地域別売上比較



地域別売上比率



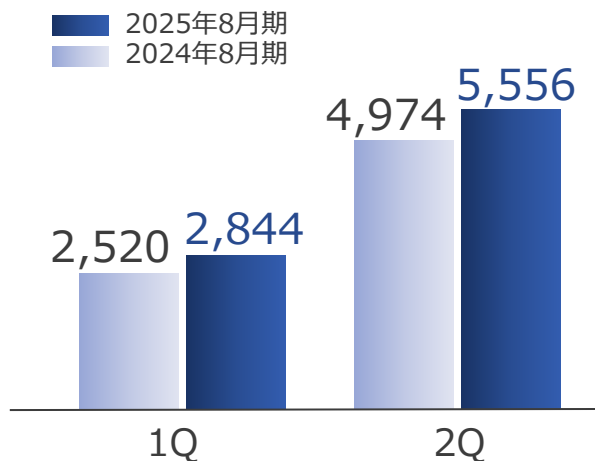
今後の重点施策

- アメリカでのビジネス立上げの加速 (新たな販売会社を開拓中)
- 東南アジアではインドネシア・マレーシアに注力

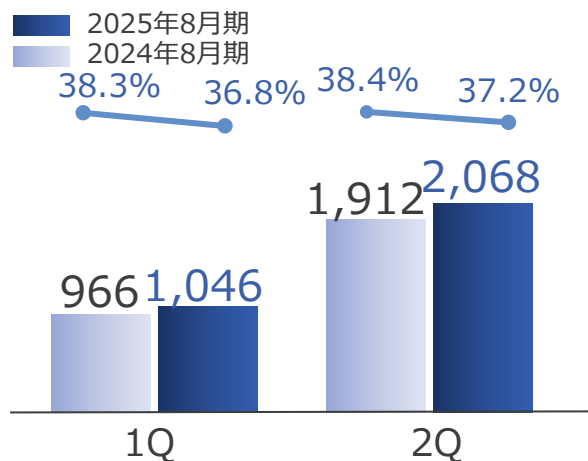
アイレス針関連製品 セグメント業績分析

(単位：百万円)

売上高



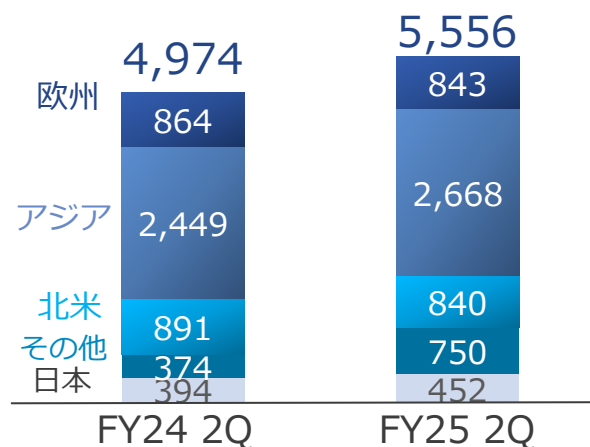
営業利益/営業利益率



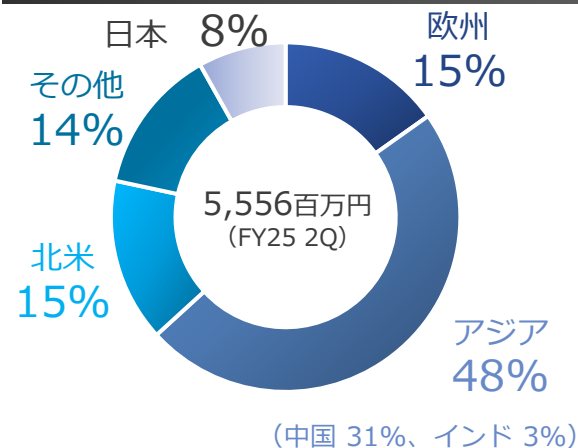
業績概要

- 中国、アジア、中南米(北米顧客の中南米における生産拠点を含む)で売上が伸長
- 粗利益率は改善するものの、販管費（主に人件費）の増加により営業利益率は悪化

地域別売上比較



地域別売上比率



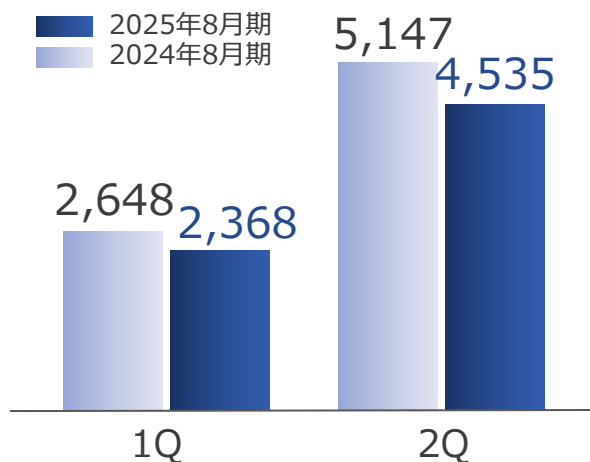
今後の重点施策

- 特殊針（ブラック針等）の製品優位性を活かして、販売を拡大
- 中南米では、受注好調が下期も継続する見通し
- 中国では、下期に在庫調整が見込まれるものの通期売上は達成見通し

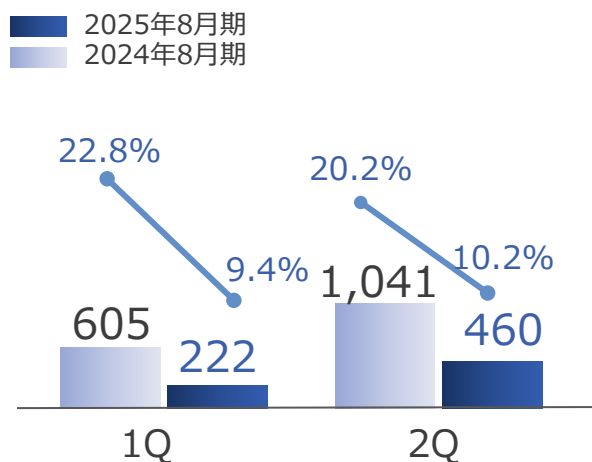
デンタル関連製品 セグメント業績分析

(単位：百万円)

売上高



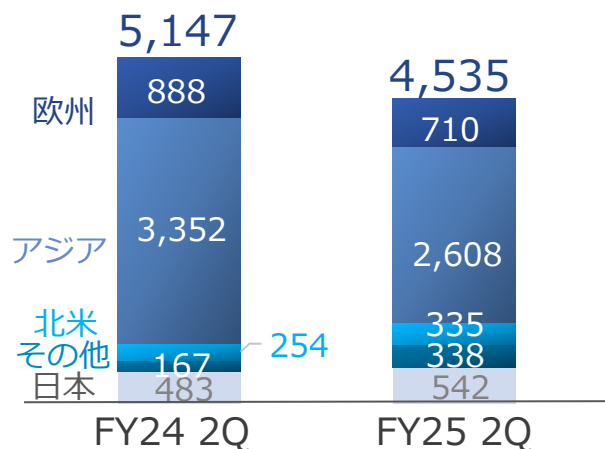
営業利益/営業利益率



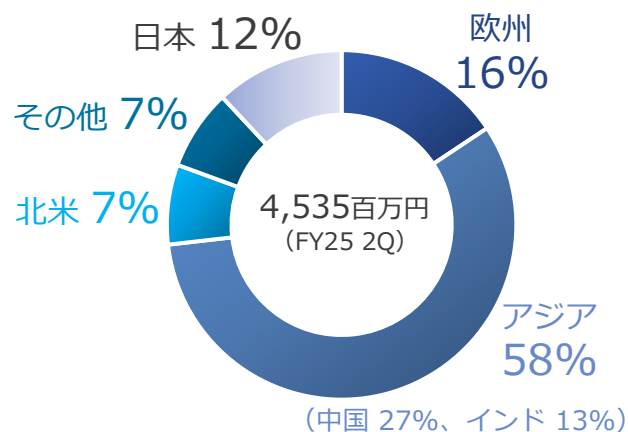
業績概要

- マニーデンタル (△13.0%) : 中国のダイヤバーが自主回収による影響で大幅な減少。
- ドイツMMG (△6.9%) : 大口顧客の受注減により減収
- 売上減に伴って利益率は悪化

地域別売上比較



地域別売上比率



今後の重点施策

- JIZAI : SKUの拡大効果(3製品)や歯科医の評価の浸透により、売上高は順調に伸長
特に、日本、インドがフロントランナー
- 中国 : ダイヤバーの製品再登録を推進
- MMG : 経営体制の刷新により営業体制を強化。OEMビジネス及びブランドビジネスを推進

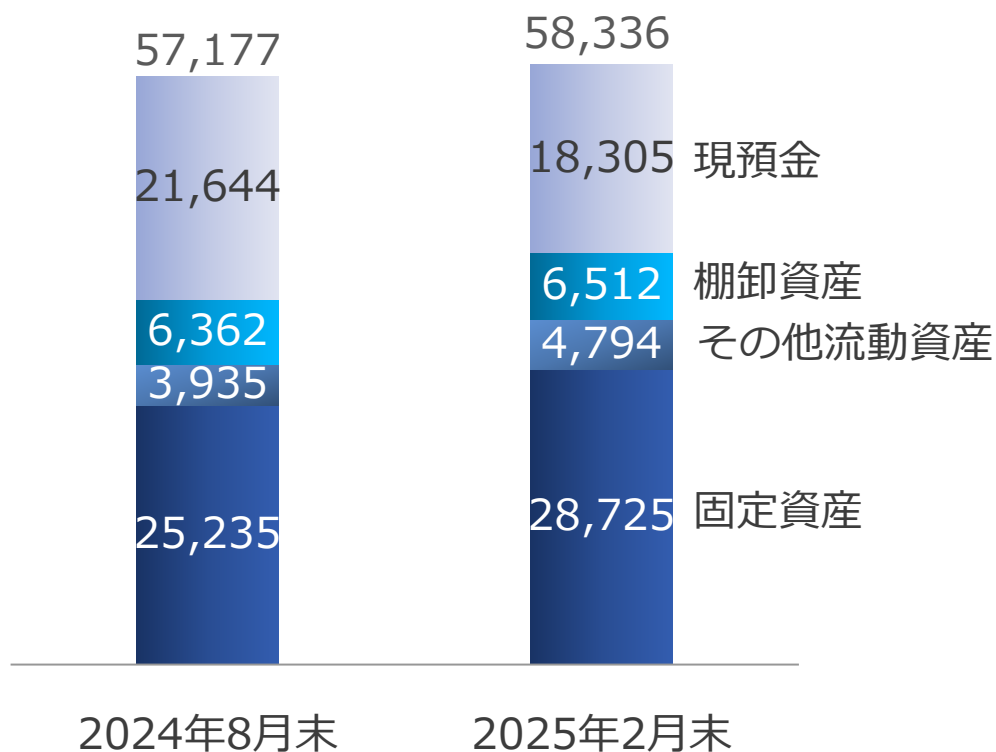
バランスシートの状況

(単位：百万円)

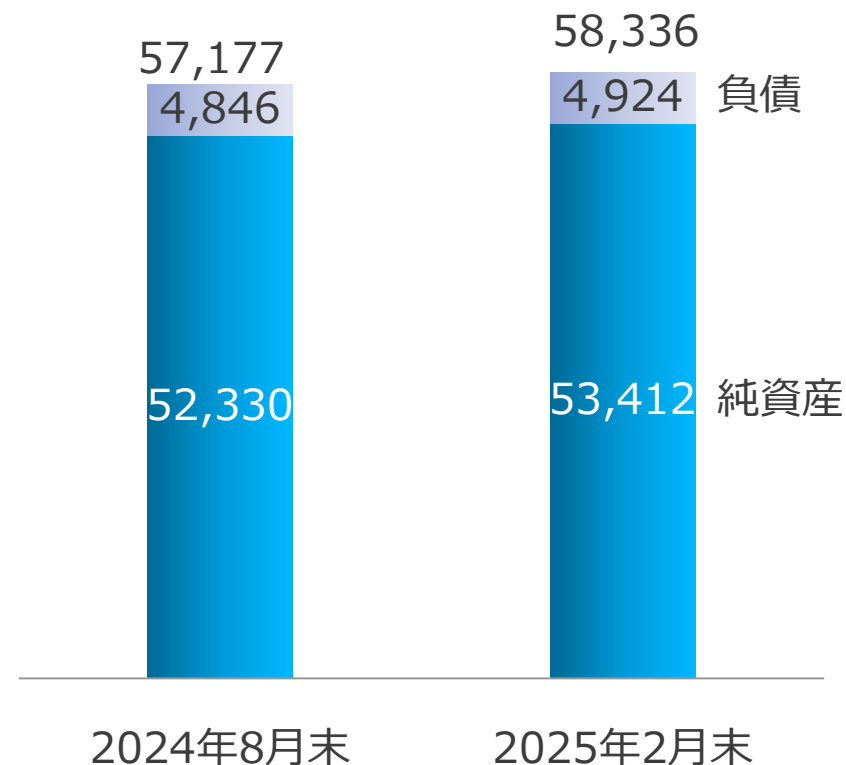
・ 強固な自己資本を維持

- 総資産1,158百万円増加：花岡工場関連投資による固定資産が増加した一方で、投資・財務活動により現預金が減少
- 負債77百万円増加：未払金及び未払法人税の増加により流動負債が増加
- 純資産1,081百万円増加：利益剰余金の増加及び円安進行による為替換算調整勘定の増加

総資産



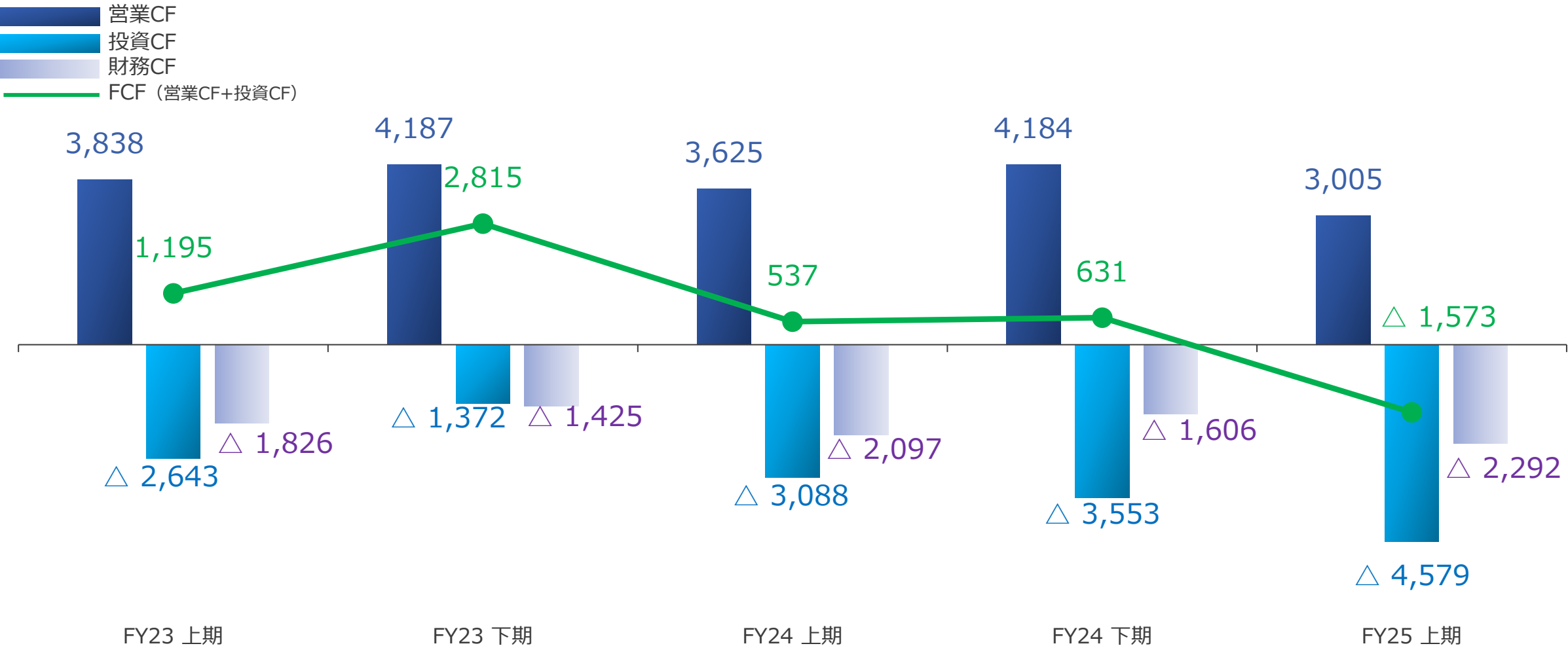
負債・純資産



キャッシュ・フローの状況

(単位：百万円)

・ スマートファクトリー投資（2023年9月から2025年2月）は、花岡工場完成によりひと段落



2025年8月期 通期見通し

(*) 対外開示数字は切り捨て表示としておりますが、本資料における構成要素の一部を四捨五入値として、各構成要素の合算値を合計値に合わせています。

計画と進捗

(単位：百万円)

- 中国の「マニーダイヤバー」の自主出荷停止によるマイナス影響はあるが、計画に対する円安効果や他セグメントの業績が好調に推移していることから、通期業績見通しを当初計画で変更なし

	FY25 2Q 計画	FY25 2Q 実績	進捗率 (対2Q累計)	FY25 通期計画	進捗率 (対通期)
売上高	14,750	14,810	100.4%	30,200	49.0%
売上原価 (%)	5,100 (34.6%)	5,317 (35.9%)	104.3%	10,500 (34.8%)	50.6%
販管費 (%)	5,450 (36.9%)	5,321 (35.9%)	97.6%	10,800 (35.8%)	49.3%
営業利益 (%)	4,200 (28.5%)	4,172 (28.2%)	99.3%	8,900 (29.5%)	46.9%
経常利益	4,200	4,277	101.8%	8,850	48.3%
純利益	3,000	2,940	98.0%	6,350	46.3%

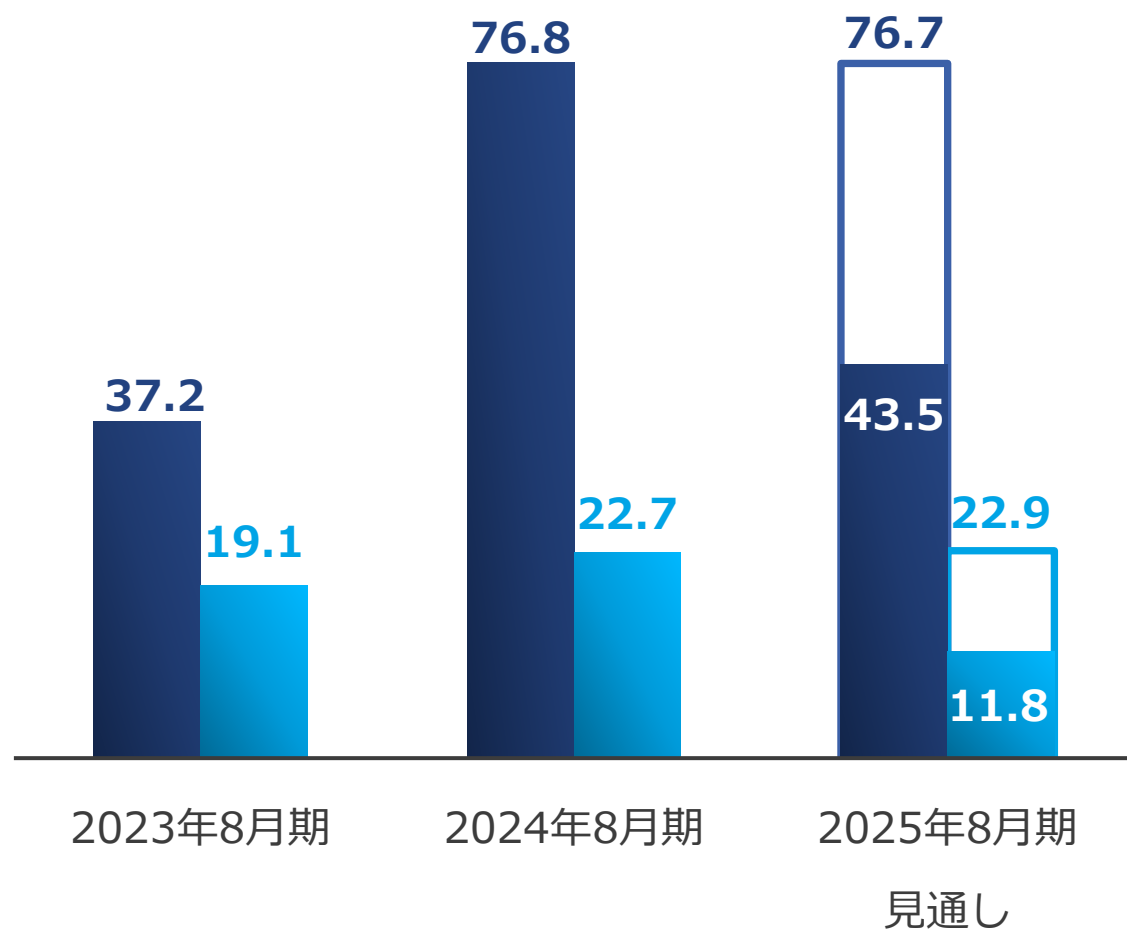
FY25 2Q実績 1USD=151.57円 1EUR=161.25円 1CNY=21.00円
 FY25通期計画 1USD=136.00円 1EUR=147.00円 1CNY=19.00円

設備投資・研究開発費（2025年8月期）

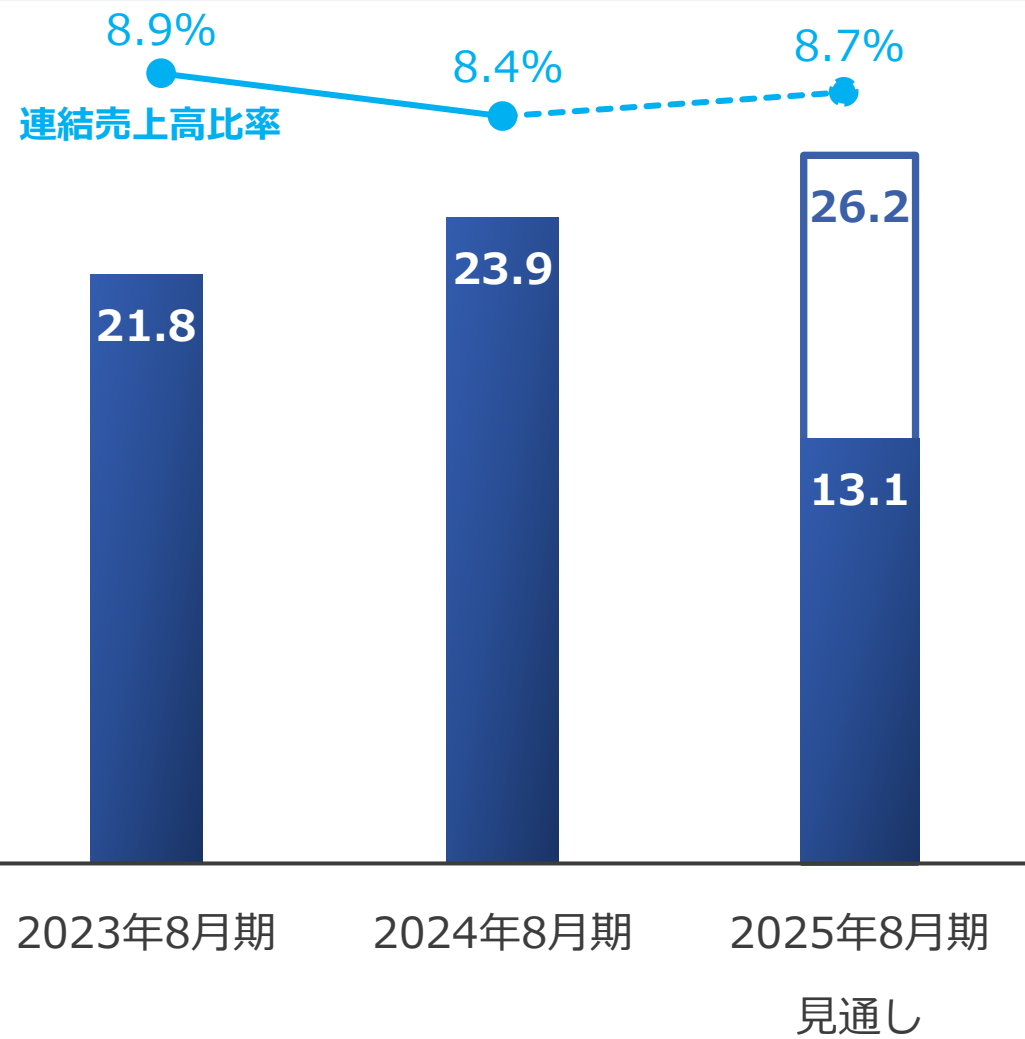
（単位：億円）

設備投資・減価償却費

- 設備投資額（検収ベース）
- 減価償却費



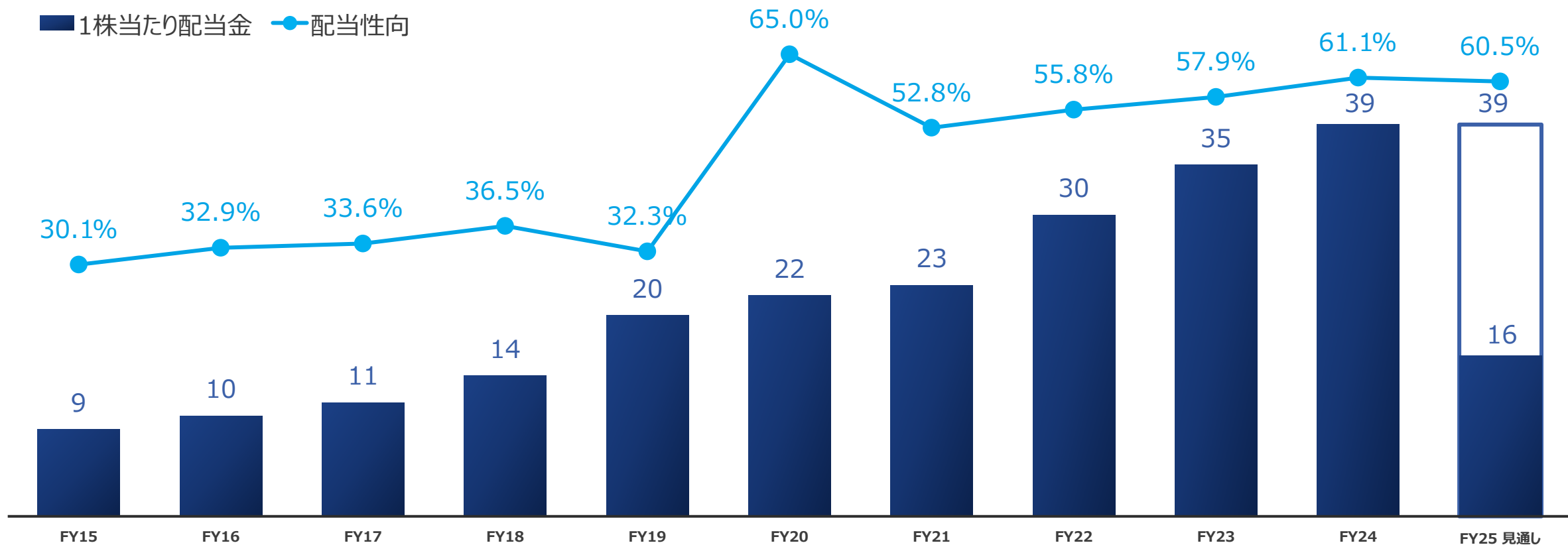
研究開発費



配当の状況（2025年8月期）

（単位：円）

- ・ 高水準の配当性向を維持し、成長投資への資金配分を確保
 - 2025年8月期：中間配当1株当たり16円に決定、期末配当1株当たり23円を予定（当初計画通り）
- ・ 成長戦略を着実に実行し、企業価値向上を目指す



世界一の品質を世界のすみずみへ

THE BEST QUALITY IN THE WORLD, TO THE WORLD

本資料に記載された業績見通し等の将来に関する記述は、資料作成時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。様々な要因により、実際の業績等が変動する可能性があることをご承知おきください。また、この資料に記載された情報は、あくまで当社をより理解して頂くためのものであり、必ずしも投資をお勧めするためのものではありません。

《お問い合わせ先》

マニー株式会社 経営企画グループ

栃木県宇都宮市清原工業団地8-3

TEL : 028-667-1811

Email : ir@mani.inc

HP : <https://www.mani.co.jp/>



補足資料

統合報告書2024の発行



統合報告書2024のポイント

- 新たに代表執行役社長に就任した渡部眞也のインタビュー
- 執行役会長 技術フェローに就任した齊藤雅彦のインタビュー
- グローバルで見たマニーの顧客基盤や営業力の紹介
- 日本やベトナムにおけるモノづくり現場からのメッセージ
- 眼科医による主力製品である眼科ナイフの製品価値の考察
- 人権方針や人権デュー・ディリジェンスなどの取組みの状況紹介
- 取締役会における議論内容の可視化

為替レート（期中平均レート）

	FY24				FY25			
	1Q累計	2Q累計	3Q累計	4Q累計	1Q累計	2Q累計	3Q累計	4Q累計
米ドル/円 (USD/JPY)	149.10	147.92	149.66	150.78	149.03	151.57	-	-
ユーロ/円 (EUR/JPY)	159.30	159.38	161.40	162.94	161.99	161.25	-	-
人民元/円 (CNY/JPY)	20.47	20.45	20.68	20.84	20.88	21.00	-	-
インドルピー/円 (INR/円)	1.79	1.78	1.80	1.81	1.77	1.78	-	-
マレーシア リングgit/円 (MYR/円)	31.95	31.35	31.78	32.28	34.36	34.47	-	-

セグメント業績 詳細

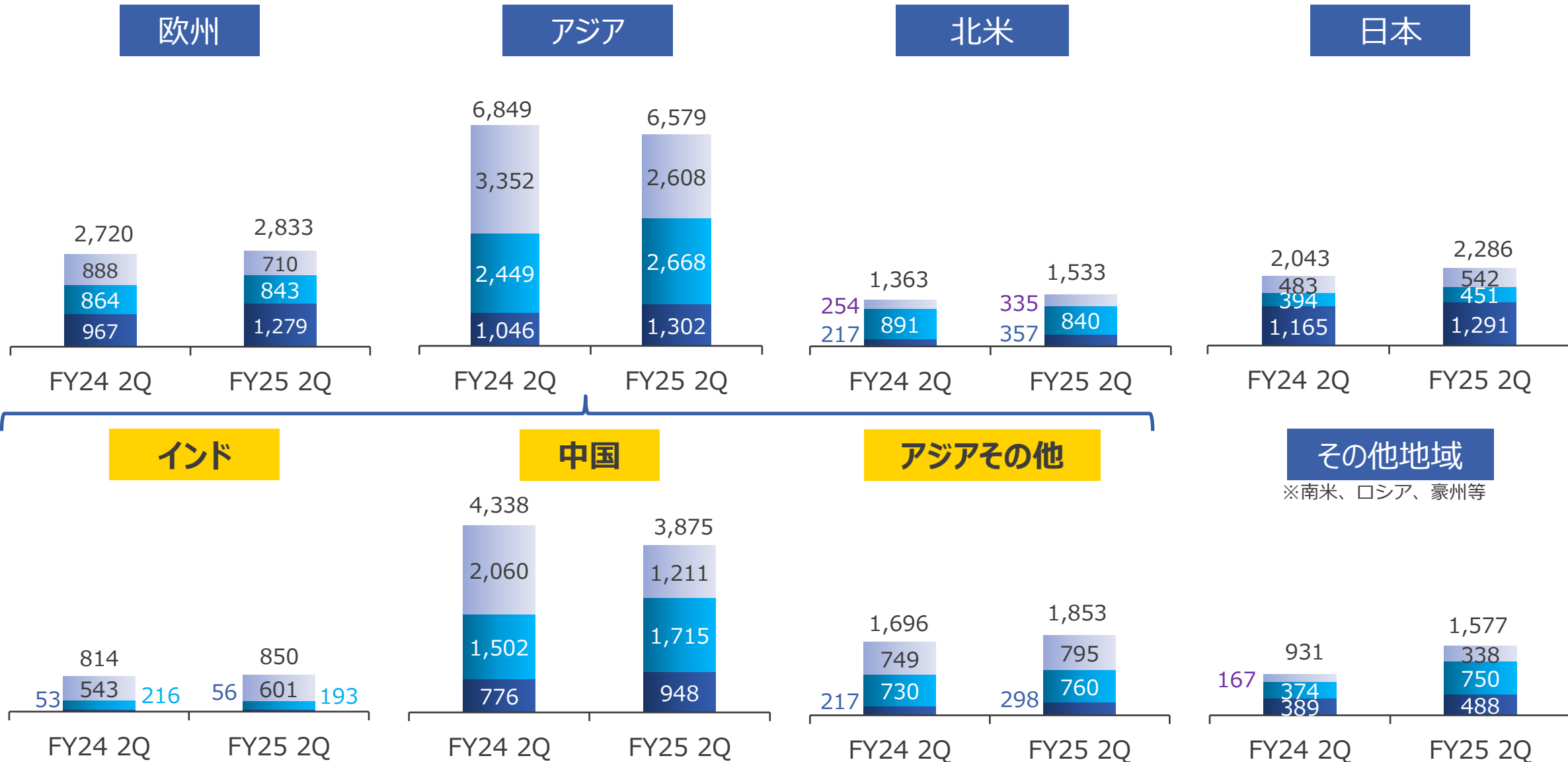
(単位：百万円)

	科目	FY24 2Q累計	FY25 2Q累計	増減
サージカル 関連製品	売上高	3,786	4,718	+932
	営業利益	1,244	1,643	+399
	営業利益率	32.9%	34.8%	-
	(販管費)	1,293	1,685	+392
アイレス針 関連製品	売上高	4,974	5,556	+581
	営業利益	1,912	2,068	+155
	営業利益率	38.4%	37.2%	-
	(販管費)	1,259	1,530	+271
デンタル 関連製品	売上高	5,147	4,535	△611
	営業利益	1,041	460	△580
	営業利益率	20.2%	10.2%	-
	(販管費)	1,944	2,104	+160

売上高の状況（地域別 詳細）

デンタル
アイレス針
サージカル

（単位：百万円）



製品セグメントのご紹介

サージカル関連製品

- 眼科ナイフやスキンスティプレーを中心とする手術用機器
- 競争優位：
 - 優れた切れ味、手術の微細化・精密化に応える微細加工技術
 - 手術時間短縮や身体への負担軽減、術後合併症予防



眼科ナイフ
(白内障手術に使用)



スキンスティプレー

アイレス針関連製品

- 手術用縫合針、手術用針付縫合糸用針 (OEM生産)
- 競争優位：
 - 微細加工技術の蓄積
 - 独自の材料開発
 - 刺通性の高さ、折れにくさ
 - 顧客の要望に対応可能な豊富な製品種類 (1万種類に及ぶ多様なラインナップ)



アイレス針



アイド針

デンタル関連製品

- 歯科治療機器、歯科用修復材
- 競争優位：
 - 根管治療器具の優れた耐久性・根管追従性
 - 環境ホルモンを含まず、歯科医師にとってハンドリングしやすい歯科用修復材
 - ダイヤバー、リーマ・ファイルの高い市場シェア (アジア地域ではトップシェアを確立)



歯科用根管治療機器
(リーマ・ファイル)



歯科用回転切削機器
(ダイヤバー)

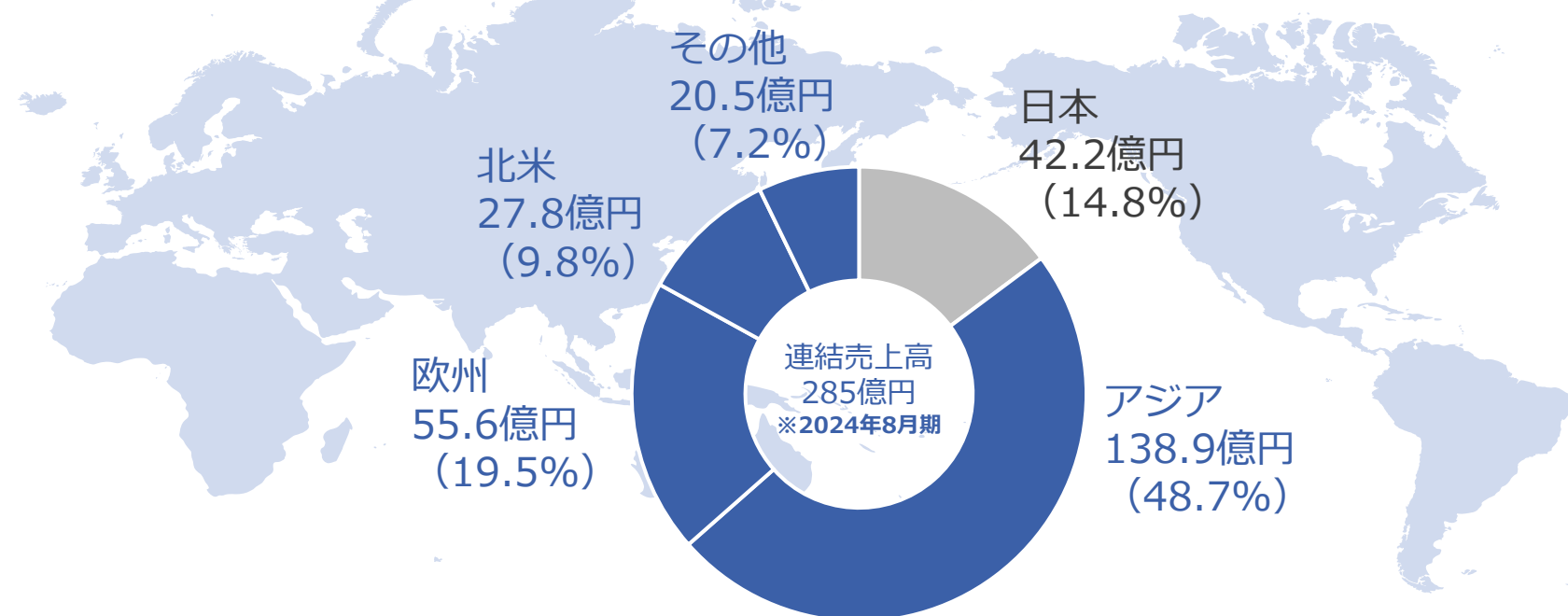


歯科用修復材

会社概要

商号	マニー株式会社	代表者	代表執行役社長 渡部 眞也
証券コード	7730	従業員数	単体：403名 連結：4,154名（2024年8月期時点）
創業	1956年（昭和31年）	資本金	1,087百万円（2024年8月期時点）
本社	栃木県宇都宮市清原工業団地8番3		

世界一の品質を世界のすみずみへ



販売地域

120以上の国・地域

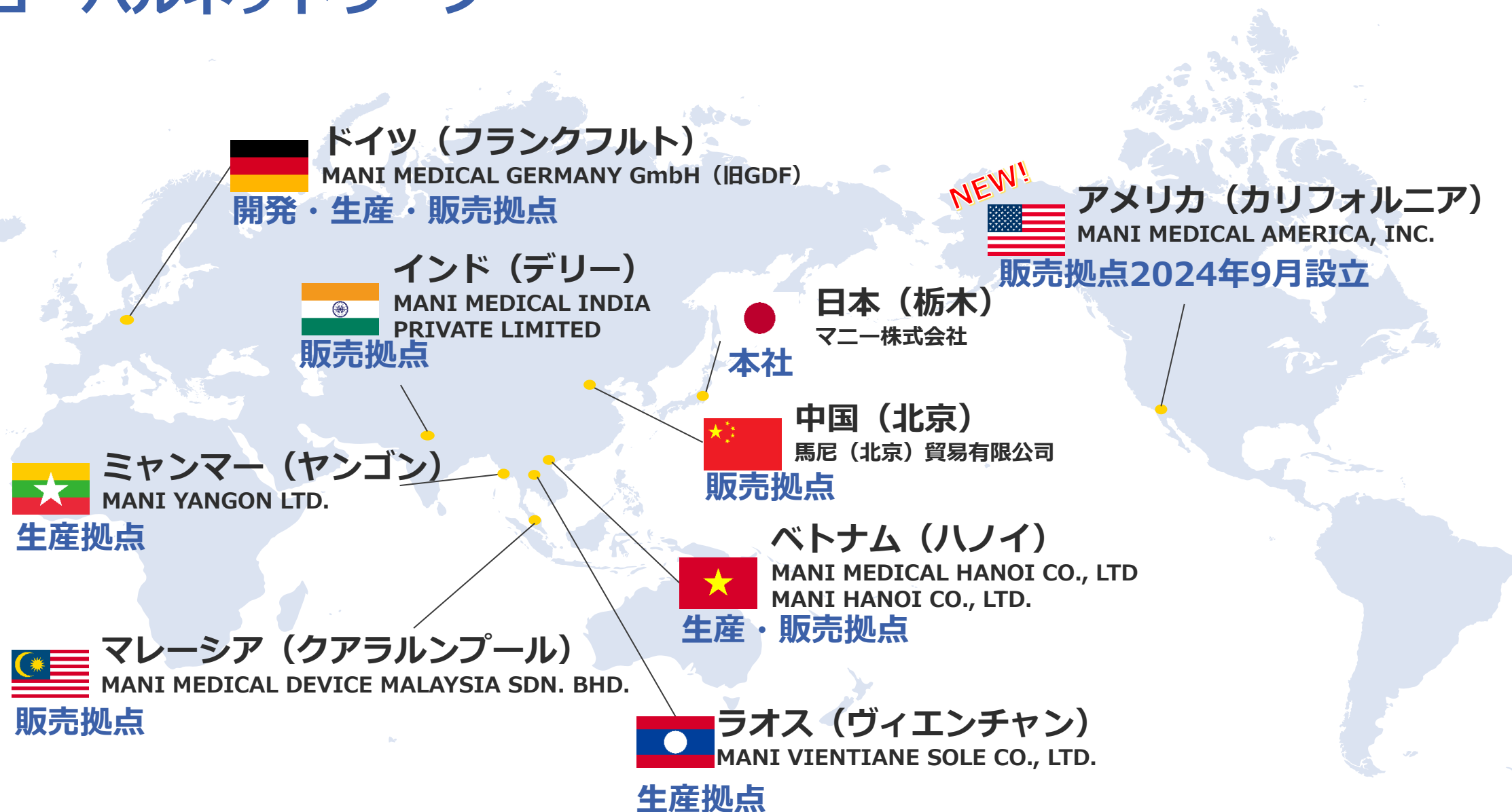
海外売上高比率

85.2%

眼科ナイフ

世界シェア **30%**程度

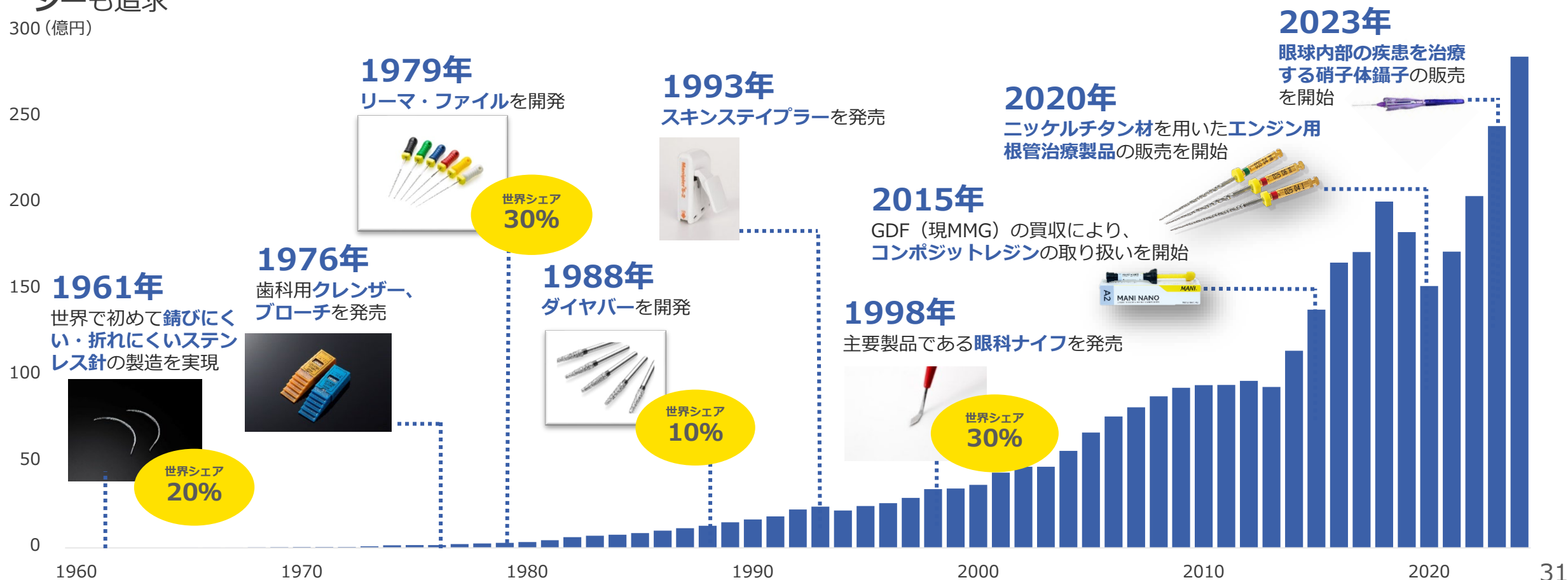
グローバルネットワーク



歴史・沿革

- 創業から一貫して**医療小物消費財**の開発・生産・販売に取り組む
- ニッチな製品群に特化したビジネスモデルで、世界的に高い市場シェア**を獲得
(Johnson & Johnson, Alcon, Dentsply Sirona等の世界的企業との差別化を実現)
- ベトナムでの高品質・低コスト生産体制**を確立したほか、近年はデンタル領域でドイツ企業（MMG）を買収し、**事業シナジー**も追求

300 (億円)



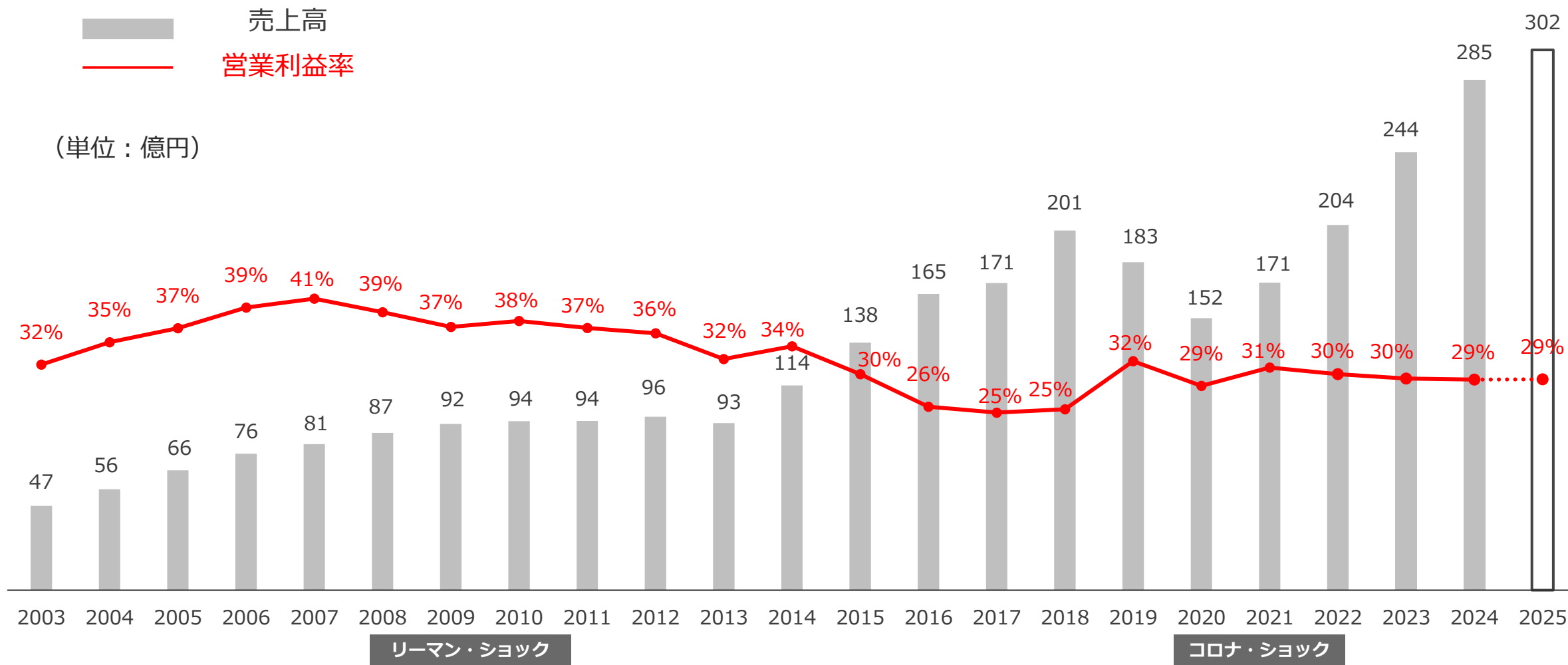
戦略立案の基準 「やらない」経営

トレード・オフ (やらないこと)を明確化し、愚直なまでに実行

- ①医療機器以外扱わない
- ②世界一の品質以外は目指さない
- ③製品寿命の短い製品は扱わない
- ④ニッチ市場（年間世界市場 5,000億円程度以下）以外に参入しない

長期成長の実現に向けて（1）

- 売上高の成長と高水準の利益率を両立
- 不況期に強いビジネスモデル（リーマン・ショック&コロナ・ショック時でも高収益率）



長期成長の実現に向けて（2）





THE BEST QUALITY IN THE WORLD, TO THE WORLD

世界一の品質を世界のすみずみへ